

13 殿下の里づくり組合 かじかの里山殿下部会

引き継ごう伝承の味、伝統の文化!

福井県 福井市



該当
カテゴリー

女性の活躍

伝統・継承

学校・企業



農家レストランでのおもてなし



開店当時



大学生と新商品の開発

概要

- 限界集落内唯一の商業施設（そば屋）の廃業危機に対して、地域の女性たち（60～80代）が農家レストランを立ち上げ、地域の伝承料理、地元野菜を使った創作料理を提供
- 人気のある惣菜を缶詰にして全国販売
- 大学生と連携してイベントの実施や、新商品の開発、店舗の有効利用など、地域の活性化に向けた取組を展開

成果

- 農家レストランの開業等により、地域への人の流れが、「通りすぎ」から「ワンストップ」してもらえる地域に変化
- 年間来店者も平成22年の数百人から平成26年約6千人に増加し、それに比例して売上げも約10倍に増加するなど地域が活性化

農業生産法人 14 有限会社 かみなか農楽舎

のうがくしゃ

福井県 若狭町

農業で地域を元気にする次世代リーダー育成



該当
カテゴリー

定住・移住

研 修

農林漁業
体験



操作の指導を受ける研修生



田植え体験イベント



地元担い手との交流会

概 要

- 都市からの若者の就農定住による地域活性化を目的に、農業技術、農業経営、機械メンテナンス等の2年間の研修を実施
- 一番の研修を「地域の一員になること」とし、集落行事、祭りなど地域の伝統行事に積極的に参加
- 各種機関と連携し教育旅行で農業体験を実施。将来農業を志す研修生と交流し、職業感も含め体験を提供

成 果

- 平成13年から平成27年までに研修修了生22人が町内で就農、家族を含めると58人が町内に定住
- 定住者の農地集積は町内農地の10%以上に広がり、担い手として活躍
- 研修卒業生等の地域行事等への参加は、地元若者の参加やUターンのかっかけになるなど地域全体が活性化

13 ロハス越前

日本一の伝統の技の宝庫を海外に発信

福井県 越前市



該当
カテゴリー

伝統・継承

インバウンド

子ども
(教育・体験)



地域の伝統 和紙の紙漉き体験



海外からの教育旅行の受け入れ



農業体験ツアーの実施

概 要

- 農家に泊まって農業や自然体験、伝統産業体験を行うグリーン・ツーリズムを展開
- 旅行会社とタイアップした田舎暮らしツアーの受入、東京、中京方面・関西方面の子供の体験ツアーの受入

成 果

- 子供の体験ツアーが144人から386人と約3倍増加(H23-27)、台湾からの教育旅行74人(H27)を受入れ
- 地域住民が地域の良さ、食の豊かさを再認識

特定非営利活動法人 ピアファーム

イキイキと働く 癒やしの果樹園でおもてなし

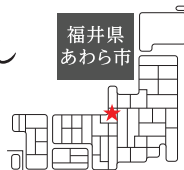
福井県
あわら市

該当カテゴリー➤

6次産業化

地産地消

医療・福祉



梨の栽培をするメンバーとスタッフ



耕作放棄地の開墾作業



6次化商品の梨ジュースが好評

概要

- ◆ 耕作放棄地や廃園した梨園を、障がい者の就業の場として、果樹を栽培。
- ◆ 引退した農園主の指導の下で栽培。ジュース等への加工も実施。
- ◆ 直売所を開設し、生産した農作物、加工品のほか、契約した農家の農産物も販売。
- ◆ ブドウ農園での摘み取り体験を開始し、外国人旅行者も受入れ。

成果

- 生産した農作物の売上は、約1,600万円から約2,200万円に増加（H24-H28）。
- 直売所の売上は、約2,500万円から約2.1億円に増加（H24-H28）。
- 障がい者の取組が、耕作放棄地の再生や地域の活性化に貢献。

お ば ま あ の 小 浜 市 阿 納 体 験 民 宿 組 合



ブルーパーク阿納空撮

該当カテゴリー

農林漁業・農山漁村文化体験

地元食材の提供・活用

食育・教育

〒917-0105 福井県小浜市
阿納 11-8

tel 0770-54-3046

fax 0770-54-3539

mail kk-3046@ma.cho.ne.jp



初めてのチャレンジ マダイの捌き

概 要

- ◆ 養殖したマダイを「釣って、捌いて、食べる」体験施設を設置し、教育旅行の受け入れを開始。漁家民宿へ宿泊し、漁村集落特有の文化体験を行う。
- ◆ 毎年 20 ～ 30 校の県外の中学校などに漁家が訪問し、自ら地域の魅力を PR。
- ◆ 大自然の中でのシーカヤック体験、養殖イカダ・餌やりなど、地域資源を活かした新たな体験メニューを開発。

成 果



漁村の暮らしの話を目撃させる子供たち

- ◆ 漁家民宿への宿泊者数は毎年 2.5 万人を越え、平成 29 年度には、漁家 1 戸あたりの収入が約 430 万円増加。
- ◆ 体験学習施設の売上は、約 2,900 万円から約 5,600 万円に増加 (H25 ～ H29)。
- ◆ 体験をきっかけに県外から地元の高校に入学する生徒が 5 名現れるなど、定住や I ターンにもつながり、漁村集落の活性化にも貢献。

株式会社 若狭の恵

わ か さ め ぐ み



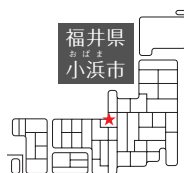
「ひまわり米」を含む特別栽培米の販売の様子

ビジネス部門

雇用

若者・学生の活躍

その他（スマート農業）



〒917-0223 福井県小浜市加茂
2-4-1

tel 0770-57-2020

fax 0770-57-2080

mail maeno@wakasa-megumi.
jp



地元小学校の農業体験の受入れの様子

概要

- ◆ 景観作物のひまわりを緑肥とした米の開発・直販に加え、自身の食材を提供するレストランを開設。
- ◆ 地域の雇用創出のため、営農サポーター制度を実施。地域の若者とベテランが協力する体制を構築。



年間 8 万人が訪れる「ひまわり畑」

成果

- ◆ 米の売上高は、約 7,300 万円から約 1.1 億円へ増加（H26～H30）。
- ◆ 社員はすべて 40 歳代以下（うち 3 名が高卒者）。正規雇用者数は 3 人から 11 人に拡大（H27～H30）。
- ◆ 営農サポーター制度による地域の高齢者等の雇用者数は、H30 年度には延べ約 1,500 人。

お は ら え こ

小原 ECO プロジェクト



福井工大生による伝統的古民家の修復再生活動



国際ワークボランティアの棚田保全・農作業支援

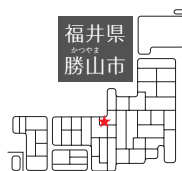


希少種ミチノクフクジュソウ保全活動

コミュニティ部門

農泊

環境保全



〒 911-0031 福井県勝山市
長山町 2 丁目 2-21
小原 ECO プロジェクト 國吉一実
tel 0779-88-1517
fax 0779-88-1517
mail ohara-eco@nifty.com

概要

- ◆ 小原集落を拠点とし、都市住民との交流による地域活性化、自然資源の保全・保護等を目的に活動。
- ◆ 明治時代以降に建築された県内唯一の建築様式を取り入れた古民家を福井工業大学の学生と協力して修復。

成果

- ◆ 過去 5 年間、毎年 1,300 人以上（令和元年度：1,350 人）が地域に訪れており、エコツアーには毎年 300 人以上（令和元年度：320 人）が参加。
- ◆ 地域に生息する絶滅危惧種のミチノクフクジュソウの保全活動には、NPO 関係者や小学生など毎年 130 人以上が参加。

12 山内かぶらから広がる地域活性化の輪

ごう どう が い し ゃ

合同会社

や ま う ち

山内かぶらちゃんの会

か い



会員12名、山内かぶらを持って記念写真



ひげ根、凹凸が多く、見た目は不恰好



地元小学生の収穫風景

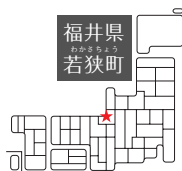
ビジネス・イノベーション部門

6次産業化

伝統の継承

女性・高齢者の活躍

福井県
若狭町



〒919-1516 福井県三方上中郡
若狭町山内42-2

tel 090-7084-8224

fax 0770-64-1497

mail kyokotobinaga_0804@yahoo.
co.jp



概要

- ◆ 100年以上前から栽培されてきた伝統野菜「山内かぶら」を復活させ、女性有志で生産組合を結成して継承。料理店に売り込んだところ、特有の味や煮崩れにくい特徴が評価されて、県内のレストランや京都の料亭にも出荷。
- ◆ 大量生産は見込めないが、中山間地の山内集落でしか出せないこの味は地域の宝。甘酢漬け、マスタード、つぼ漬けなど企業や料亭と連携した加工品開発のほか、小学校の授業や栽培体験、飲食店が連携した食育プログラムにも協力。



成果

- ◆ 耕作面積は、40a（平成30年度）から65a（令和4年度）に増加し、集落の農地や耕作放棄地の有効活用に貢献。出荷量も、480kg（平成30年度）から550kg（令和4年度）に増加。
- ◆ 集落内のレストラン開業により、販売金額は、約91万円（平成30年度、令和3年度）から約240万円（令和4年度）に急増。

団体のInstagramはこちらから ➡



12 越前水仙 みんなの力で100万本再生！

MISAKI CREATORS



海を一望する畑で草刈り



RUCKの公式戦で行われた応援水仙PRイベント



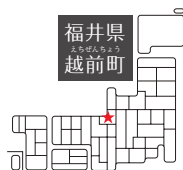
圃場を整備する学生たち

ビジネス・イノベーション部門

農業

多様な分野との連携

その他(トキ・イミ消費型の新しい市場の開拓)



〒916-0301 福井県丹生郡越前町梨子ヶ平28-2-2 棚田水仙館内

岬クリエイターズ

(運営) 株式会社Ex SATOYAMA

tel 080-2958-1197

mail misaki.jiman@gmail.com

概要

- ◆ 福井県花の越前水仙は、過疎高齢化による担い手不足やシカの食害により生産量が大きく減少。
- ◆ 地元集落や自治体、福井県立大学地域経済研究所と連携して資源の未来に可能性を求める人や企業を結集するプロジェクトとして「MISAKI未来農園」を設立。MISAKI CREATORSが人や企業のプラットフォームとなり維持管理が困難になった水仙畑の生産を代行したり、獣害や長年の放棄で荒れた状態から再生を行う。

成果

- ◆ 令和5年の冬は越前水仙の花弁市場への出荷が1万5,000本を突破し、産地全体の2%を底上げ。シカの食害にあう球根の増殖を獣害リスクのない県内平野部の大学で学生が行うなど、長年の課題を既存の枠組みにとらわれない新しい力が融合して解決しながら前進している。
- ◆ 試行から参加している県内企業は水仙畑の整備に社員を挙げて作業を推進、福井に支店を置く上場企業社員のボランティア参加、フットサル女子日本リーグのチームの水仙柄ユニフォームなど多様な分野との連携を強化。

詳細は団体のHPから



13 スマート農業による農福連携で SDGs(ノーマライゼーション) の実現

ゆうげんがいしゃ

有限会社

のうがく

あわら農楽ファーム



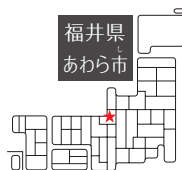
農福連携によるスマート農業

コミュニティ・地産地消部門

スマート農林水産業

農福連携

関係人口の創出



〒919-0601 福井県あわら市山室72-101

tel 0776-73-5955

fax 0776-73-5477

mail info@awara-nougaku.jp



刈払い機労働安全衛生教育研修



農福連携で生産した主なノウハウ商品

概要

- ◆「高齢化・後継者不足となっている地域農業の担い手」と「療育の一環として障がい者に農業を通じて働く場」が必要。
- ◆平成13年に会社を設立し、施設外就労で障がい者を受け入れ農福連携に取組む。全国に先駆けGPSを活用したスマート農業を導入。令和4年からは農業試験場とロボット田植え機、アシスト付きコンバインの実証試験を行う。

成果

- ◆スマート農業等で農業に科学的な視点を積極的に導入し、高品質で安心な「農産物」、「生産工程」の安全性が高まり、GH評価905点のリスク削減となる。実証試験では、熟練オペレーターとの作業時間は10a当たり4～6分の差があったものの障がい者の自信や意欲の向上及び新規農業者が参入しやすい環境づくりに寄与。また、農福連携、情報通信技術(KSAS)の活用、国内肥料資源を活用した特別栽培農産物等で食料の安定供給及び自然環境にやさしい農業等のSDGsに取組。
- ◆農産物等は病院、福祉施設、外食事業者や量販店、ふるさと納税等で高い評価を得て完売し、年間売上は1.9億円。施設外就労の受け入れ人数は令和5年度には12人に増加。過去10年間で一般就労に移行したのは5人と障がい者の安定的な就労先として貢献。

詳細は団体のHPから

